

おごせ教育 Pick up

越生小学校

2月2日(木)に上野東の山口農園代表、山口由美さんを講師としてお招きし、3年生が「梅農家のしごと」の学習を行いました。梅農家の1年のスケジュールや、越生の梅の特徴を知り、充実した時間を過ごすことができました。



梅園小学校

1月17日(火)は、5、6年生が植樹体験を行いました。新さくらの山公園で、埼玉森林サポータークラブ・川越農林振興センター・越生町産業観光課の方の指導を受けながら、植樹を行いました。実際に木を植える体験を通して、洪水や土砂の流出を防いだり、野生動物のすみかを守ったりする森林としての機能を学びました。

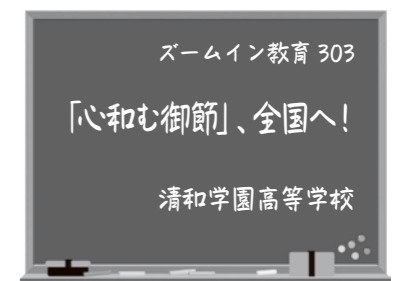


越生中学校

1年生が「ふるさと教育」の一環で越生町の魅力を伝える活動をしました。木工所から木片を譲り受け、炭火に入れて焦げ目をつけ、それを布で磨き、刺繍糸を穴に通して、お手製のお守りを作成しました。このお守りを越生町のハイキングに来られた方に配らせていただき、おもてなしをしようという取り組みです。



おごせっ子広場
町内の小中学校や町の行事等に参加する子供たちを写真で紹介するコーナーです。



今年の我が校は、依然続くコロナ禍の中で、軟式野球部、ソフトテニス部、卓球部が、全国大会出場という、昨年以上の大活躍を見せた。二年連続、嬉しいことである。
しかしながら今年、それ以上に特筆すべきことは、教育活動における調理科の活躍である。

本校は、最新の調理施設を備えた充実した環境の中で、経験豊富なプロの料理人の先生による調理実技指導を受けることができる。その指導を受けた生徒たちが、旅行会社の企画で、越生町の特産品である「梅と柚子」を基にオリジナル商

品を考案、それを「全国高校生おせち料理」という形で表現した。お品書きは全三十二品。見事な二段重に仕上がった。
生徒たちにとっては貴重な経験になった。その上、越生町の「ふるさと納税」の返礼品にも採用していただき、越生の魅力を全国に広めることができたのではないかと考える。
本校の母体である学校法人一川学園も、昨年で六十周年を迎えた。今後とも、一層地域に信頼される学校を目指し、教育活動の充実を図っていきたい。



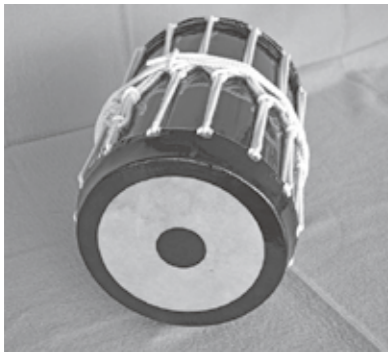
越生浪漫 No.169

越生町文化遺産活用事業 経過報告③

伝統行事・民俗芸能を継承、保存する12団体による文化庁の「地域文化財総合活用推進事業（地域の伝統行事等のための伝承事業）」も終わりが近づいてきました。

用具類修理・新調の状況

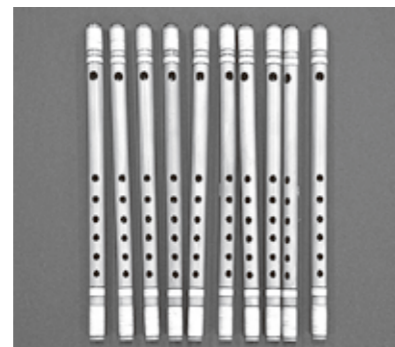
昨年の8～11月にかけて4団体の事業が完了しています。①津久根獅子舞保存会が保存会員の半天と篠笛を新調②麦原獅子舞保存会は花子衣装（単衣・長襦袢・半巾帯・



越生里神楽保存会の桶胴太鼓1台（新調）



津久根獅子舞保存会の半天、篠笛（新調）



しごき）と蠅追（獅子用の巻き帯を新調③越生里神楽保存会は桶胴太鼓の新調と締太鼓の革を修理④梅園獅子舞保存会は3頭分の獅子頭、獅子用太鼓、水引幕を修理。このほか黒岩町の山車飾幕の復元新調や、越生東二区囃子連上野獅子舞保存会の用具類の修理・新調も進行中です。



麦原獅子舞保存会の長襦袢と巻き帯（新調）、梅園獅子舞保存会の用具類（修理）



山車修理の状況

10・12月には、(株)荒木社寺（秩父市）と、(株)吉匠建築工業（八王子市）の作業場を訪問し修理状況を視察してきました。1月以降、順次山車の組立工事が始まっています。

今月中には全事業が完了します。夏の越生まつりに始まり、秋冬の獅子舞・里神楽奉納に向けて、カメラの腕を磨いておきたいと思えます。



左：河原町・本町の山車を修理中の株吉匠建築工業 右：新宿・上町・仲町の山車を修理中の株荒木社寺